

COMITE COLBERT AWARD 2018

コルベール委員会ジャパンは東京藝術大学の協力を得て、アーティスト育成を目的とした共同プロジェクト“コミテコルベール アワード2018”を開催します。

東京藝術大学の学生へテーマに基づいた作品を応募し、審査で選出された12作品を東京藝術大学美術館で展示します。2018年のテーマは「People and Nature in the modern world（現代における人と自然）」です。

日本文化において自然は重要なものですが、自然はまたラグジュアリーブランドのデザイナーやアーティストのインスピレーション源にもなってきました。この普遍的テーマを若手アーティスト達がどのように表現するか是非ご覧ください。

コミテコルベール アワード 2018 -現代における人と自然-

会期： 2018年11月17日(土)～11月28日(水)
開館時間： 10:00-18:00(入館は閉館の30分前まで) 会期中無休・入場料無料
会場： 東京藝術大学大学美術館 本館 展示室2
主催： コルベール委員会ジャパン/東京藝術大学
後援： 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

■参加学生（第1次審査通過者12名）

鈴木 茜理 / 野村 絵梨 / 馬淵 一樹 / 今井 貴絵 / 東 弘一郎 / 大竹 舞人 / 松本 幹子
田岡 美紗子 / 高本 夏実 / 岡崎 龍之祐 / 副島 泰平 / 堀 由紀江

11月16日に展覧会開催に先駆け、12名の中から優秀者が選ばれます。

■一次審査員(順不同、計7名)

薩摩 雅登 教授(大学美術館)
O JUN 教授(絵画科油画専攻)
小沢 剛 教授(先端芸術表現科)
森 淳一 准教授(彫刻科)
岩田 広己 准教授(工芸科)
鈴木 太朗 准教授(デザイン科)
八谷 和彦 准教授(先端芸術表現科)

■作品画像



岡崎 龍之祐 「祈纏」2018



高本 夏実 「Anima」2018



今井 貴絵 「終始、落ちること」2018



松本 幹子 「Happiness cannot exist in dots」2018



大竹 舞人 「Something walk with me」2018



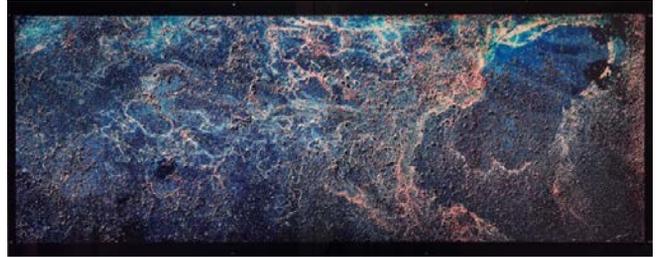
田岡 美紗子 「Living room」2018



東 弘一郎 「他転車」2018



馬 渕 一樹 「窓から雲を見た少女」
2018



副島 泰平 「The old sea」2018



堀 由紀江 「Journey through the
solitary journey」2018



野村 絵梨 「面」2018



鈴木 茜理 「組み合わせられた物体」2018

All Photos: 永井文仁 © コルベール 委員会ジャパン、東京藝術大学

11月16日に展覧会開催に先駆け、12名の中から優秀者が選ばれます(二次審査)

■二次審査員

日比野 克彦 (東藝術大学 美術学部長)

秋元 雄史 (東京藝術大学 美術館館長・教授)

ノルベール ルレ (LVMH モエ ヘネシー ルイヴィトン ジャパン代表取締役社長)

有賀昌男 (エルメスジャポン株式会社 代表取締役社長)

リシャール コラス (コルベール委員会ジャパン チェアマン、シャネル株式会社 代表取締役社長)

他

■これまでの取り組み

2016年には、コルベール委員会は文化・芸術を通じた社会貢献事業で、未来のアーティストの育成の一助となる日本における独自のプロジェクト「2074. 夢の世界」を発進しました。

プロジェクトでは、50名の東京藝術大学学生が、6つのSF小説からインスピレーションを得て60年後のユートピア世界をヴィジュアルで表現するアート作品を制作。作品は、2017年6月東京藝術大学大学美術館での展覧会で発表されました。さらにその中から数点は、フランス最大の国際コンテンポラリーアートフェア FIACで展示されました。



FIAC会場のコルベール委員会と東京藝術大学主催のオープニング

コルベール委員会(COMITÉ COLBERT)とは

<http://www.comitecolbert.com/>

1954年にゲランの創始者であるジャン・ジャック・ゲランの主導で創設されたコルベール委員会は、フランスのラグジュアリーブランド82社と16の歴史的文化施設、6つの欧州メンバーを代表する多様なメンバーで構成され、世界の人々にフランス流「美しい暮らし」を伝えるという理念のもとに活動しています。

共通の価値観

1954年の創設以来、メンバーの入会・更新は、次の基準を満たしたブランドに限られています。国際的なブランドを目指し、ブランド独自の価値観をもっていること、技術の高さ、クリエイティブであること、審美眼をもっていること、社会的に健全であることです。

フランスラグジュアリー

コルベール委員会は、伝統的なブランドから新しいブランドまで、さまざまなブランドが80社集結しています。その中には、シルバーウェア、自動車、クリスタル、革小物、インテリア、出版、陶磁器、ガストロノミー、オートクチュール・プレタポルテ、ホテル、宝石、香水・コスメティック、ワインなど13種類に及ぶ職種のブランドが参加しています。クリエイティブな活動をし、常に新しいフランスのラグジュアリーを発信しています。

フランス経済における重要な産業

2017年、コルベール委員会のメンバーブランドによる売り上げは年間420億ユーロ(約5兆5千億円)となり、そのうち86%は180か国におけるフランス国外での売上となっています。フランスでは165,000の人々を雇用しています。

共通の活動を行うための大規模なネットワーク

コルベール委員会の戦略は、1200人の専門家とのネットワークを持つ7つの小委員会で作成されます。理事会での協議・承認後、総会にて決定されます。

行動・未来・発信・影響力

<行動>

多様なメンバーで構成されるコルベール委員会は、フランス的審美眼を活用し、それぞれのメンバーの価値観を伝えるとともに、フランスラグジュアリーを目指す共通の戦略、また各メンバーブランドの個別の戦略を練り、共に実行します。

<未来>

コルベール委員会は、メンバーブランドの技術の向上や未来への展望に関する意見・情報交換の場を設け、今後のさらなる発展に向けて活動します。

<発信>

コルベール委員会は、メンバーブランドの知名度を世界中に広めるために、文化的活動に力を注いでいます。ラグジュアリーと

文化を結ぶため、世界中でさまざまなイベントを開催します。

<影響力>

コルベール委員会のメンバーブランドは、経済成長と雇用において重要な産業です。またコルベール委員会はメンバーブランドを代表して、各ブランドの発展のため、フランス、ヨーロッパおよび世界の公的機関に対し、意見を発言し、交渉します。

新しい動き

2011年より、コルベール委員会はEUの経済発展のために、EU加盟国のブランドもメンバーとして受け入れています。

**19社のコルベール委員会メンバーがコミテコルベールアワード2018の制作をサポートします
(参加ブランド一覧、50音順)**

イヴ サンローラン パルファム / ヴァン クリーフ & アーペル / エルメス / カルティエ / クリスチャン ディオール
クチュール / ゲラン / シャネル / シャンパーニュ ヴーヴ クリコ ボンサルダン / シャンパーニュ クリュッグ /
セリーヌ / バカラ / パルファム クリスチャン ディオール / ボンポワン / マルテル / ラ メゾン デュ ショコラ /
ランコム / ルイ ヴィトン / レミーマルタン / ロンシャン

コルベール委員会メンバーブランド

シルバーウェア

- ・クリストフル, 1830
- ・デュリル, 1895
- ・エルキュイ, 1867
- ・ピュイフォルカ, 1820

自動車

- ・ブカッティ, 1909
- クリスタル
- ・バカラ, 1764
- ・サン・ルイ, 1586

革製品

- ・ベルルッティ, 1895
- ・エルメス, 1837
- ・ジョン・ロブ, 1899
- ・ロンシャン, 1948
- ・ルイ・ヴィトン, 1854
- ・ピエール アルディ, 1999

インテリア

- ・クリスチャン・リエーグル, 1985
- ・エルベ・ヴァン・デル・ストラッテン, 1985
- ・ピエール フレイ, 1935
- ・イヴドローム, 1845

出版

- ・ピュシエール, 1924
- ・ディアンヌ・ド・セリエ, 1992
- ・フラマリオン・ボー・リーヴル, 1875

陶磁器

- ・ベルナルド, 1863
- ・ジアン, 1821
- ・ロベール・アヴィランド&C.
パルロン, 1924

文化施設

- ・アカデミー・ドゥ・フランス・ア・ローマ - ヴィラ・メディチ, 1666
- ・エール フランス航空会社, 1933
- ・ボンピドゥー・センター, 1977
- ・フォンテーヌブロー城, 1137
- ・パリ装飾美術館, 1882
- ・ヴェルサイユ宮殿, 1661
- ・コメディ・フランセーズ, 1680
- ・フランス国立音響音楽研究所, 1976

ガストロノミー

- ・アラン・デュカス, 2000
- ・タロワイヨ, 1682
- ・ギ サヴォワ, 1980
- ・エディアール, 1854
- ・ジョエル・ロブション, 2010
- ・ラ・メゾン・デュ・ショコラ, 1977
- ・ルノートル, 1957
- ・ピエール・エルメ・パリ, 1996
- ・ポテル エ シャボ, 1820

オートクチュール・プレタポルテ

- ・ボン ボワン, 1975
- ・セリーヌ, 1945
- ・シャネル, 1912
- ・クロエ, 1952
- ・クリスチャン ディオール クチュール,
1947
- ・エレス, 1968
- ・ジバンシィ, 1952
- ・ジャンヌ ランバン, 1889
- ・ラコステ, 1933
- ・レオナール, 1943
- ・ピエール・バルマン, 1945
- ・イヴ・サンローラン, 1962

ホテル

- ・ジョルジュ サンク, 1928
- ・ル プリストル パリ, 1924
- ・ホテル・デュ・パレ, 1893
- ・ホテル プラザ アテネ, 1911
- ・ホテル リッツ パリ, 1898
- ・ル・ムーリス, 1835
- ・ウストー・ドゥ・ボーマニエール, 1945
- ・レ・プレ・ドゥジュニー, 1974
- ・タイユヴァン, 1946

- ・歴史建造物保護協会, 1924
- ・MAD, 1882
- ・ゴブラン, 1662
- ・モネ ド パリ, 864
- ・国立ルーヴル美術館, 1793
- ・オルセー美術館, 1986
- ・パリ・オペラ座, 1669
- ・国立セーブル製陶所, 1738
- ・ラ・ソルボンヌ, 1257

宝石

- ・シュロン, 1858
- ・ブレゲ, 1775
- ・カルティエ, 1847
- ・ロレンツ・パウマー, 1992
- ・メレリオ, 1613
- ・エス・テー・デュボン, 1872
- ・ヴァン クリーフ&アーペル, 1906

香水・コスメティック

- ・キャロン, 1904
- ・ゲラン, 1828
- ・エディシオン・ドゥ・パルファム
フレデリック・マル, 2000
- ・パルファム シャネル, 1924
- ・パルファム クリスチャン
ディオール, 1948
- ・パルファム ジバンシィ, 1957
- ・パルファム エルメス, 1948
- ・ジャン バトゥ パリ, 1925
- ・ランコム, 1935
- ・ロシャス, 1925
- ・イヴ・サンローラン パルファム, 1962

ワイン

- ・シャンパーニュ ボランジェ, 1829
- ・シャトー・シュヴァール・ブラン, 1832
- ・シャトー・ラフィット・
ロートシルト, 1855
- ・シャトー・ディケム, 1593
- ・シャンパーニュ クリュッグ, 1843
- ・マーテル, 1715
- ・シャンパーニュ ペリエ ジュエ, 1811
- ・レミーマルタン, 1724
- ・シャンパーニュ ヴーヴ・クリコ
ボンサルダン, 1772

EU加盟国メンバー

- ・デルヴォー, 1829
- ・ドクター イレナ エリス, 1983
- ・ヘレンド, 1826
- ・モーザー, 1857
- ・リーデル, 1756
- ・ゾロタス, 1895